

タウンミーティング 平成30年11月21日(水)開催 <<鶴瀬公民館>>

地域別テーマ：道路整備と土地利用について

：空き家対策について

①

Q 地域内の農地は、相続発生時に後継者がいないと住宅地となることが多いが、どうしても個別の開発になり、消防車などの緊急車両が入れない道路整備となることがある。子どもたちが遊べる場所の確保なども含めて、計画的なまちづくりを進めてほしい。

A (市長)

大規模な開発であれば、開発業者との事前協議などが可能ですが、個別の開発では難しいのが現状です。道路拡幅については、道路用地の採納にご協力いただきながら進めるため、長期間にわたるだけでなく多額の費用もかかる事業となります。そのため、市内全ての生活道路で実施していくというわけにはいきませんので、それぞれの地域の皆様と協議しながら検討したいと思います。

②

Q 大曾根自転車店前の上沢の交差点では、踏切から来た方と羽沢ミニコープ前から来た方と、いずれも右折がしづらく頻繁に渋滞が発生する。現状では右折帯の設置も難しいので右折信号などで対応できないか。

上沢3丁目の踏切の拡幅については必ずしもいい面だけではない。接続先の川越街道付近で改良工事を実施しており、完成すれば大型車両が富士見市側にたくさん入り込んでくる心配がある。過度の侵入を抑制できるような対策をお願いしたい。

A (市長)

踏切の拡幅や道路改良は、通過する交通には便利になりますが地域の方々には心配な話でもあります。県などともどのような対策ができるか協議していきます。

③

Q 空家の現状について新聞に掲載されていたが、深谷市は空家の解体作業を特別措置法に基づき行政代執行で行っている。富士見市でもやっていく必要があると考える。

A (市長)

空家については、特定空家の指定ができれば同様の対応が可能となりますので、情報をお寄せください。

④

Q 谷津幼稚園前の県道交差点は、ららぽーと富士見方面への右折帯ができたのでだいぶスムーズになったが、反対側にはまだ右折帯が設置されていない。鶴瀬小学校方面から鶴瀬駅方面に右折する車両がいると、すぐに渋滞して危険なので早く対応をお願いしたい。

A (市長)

この交差点は、バス通りであり交通量も多いことから対応の必要性は十分に理解しています。右折帯の設置には用地が必要となりますが、今のところ地権者の皆様との協議については未定となっています。

⑤

Q 12月オープン予定の葬祭場の件については、以前に要望書を提出し、見通しが良くなった。一方、アスリエに向かう道路は、狭いところと広いところが混在しており、一度住宅が建ってしまうと拡幅は難しい。法令的には問題ないのだろうが、市として快適な道路整備のビジョンのようなものはないのか。

A (市長)

市道延長が400キロメートル以上ある中で、重点箇所等を選定しながら状況に応じて地権者と協議を進めるなどの方法を取っています。道路拡幅については、強制力が無いため、住宅街の中などの改善を図っていくのは、土地の買い上げなどを含め、難しいことをご理解いただきたいと思います。

⑥

Q 町会内にあった空家を解体したが、約150万円かかった。市内にDランクの空家が2件あるが、解体した場合の費用負担はどうなるのか。

A (市長)

行政代執行による解体であれば、空家の所有者に請求することとなります。

A (建設部長)

Dランクの2件の空家については、特定空家として認定しているわけではありません。危険な状態であれば協議会での議論を経て認定していきます。

⑦

Q 空家が建っている土地よりも、更地の方が固定資産税が高いので、なかなか解体されないのではないのか。条例等で改善できないものか。

A (市長)

空家が建っているときよりも更地の固定資産税を安くすることは難しいですが、状況の改善が進むような支援策を検討したいと考えます。

⑧

Q 町会の班長をしているが、最近外国人住民が多く、ゴミを集積所に出すときの分別がわからない事が多くて困っている。市役所での住民登録時などに、指導をしたり、集合住宅の管理人が情報を提供したりするなどの方法を考えてほしい。

A (市長)

人口11万1千人のうち、外国人の方は約2千人以上いらっしゃいます。外国人の方が住民登録の手続きをする際に、ゴミの出しかたについて問い合わせがあった場合には、ホームページで5か国語の案内をしていることを伝えていきます。また、環境課でも3か国語のごみの出し方の冊子を配布しています。外国人の方にも情報が届けられるような方法が他にないか検討してまいります。通訳が必要な場合は、ふじみの国際交流センターでも対応できるかと思えます。